

1万カ所学習会集約表(2020年9月総会・報告があった分の集計)

	県名	回数	参加数	特徴・今後の予定など
51	北海道			
52	青森県			
53	岩手県	13	383	
54	宮城県			
55	秋田県			
56	山形県			
57	福島県			
58	茨城県	1	30	
59	栃木県			
60	群馬県			
61	埼玉県			
62	千葉県	18	574	コロナウイルス感染拡大により、すべての住民、生活している人を保護する政治の役割がより鮮明になった。「いのちが最優先の課題」として医療・公衆衛生等、住社会保障制度の抜本的な拡充に向けて「全世代型社会保障」政策そのものの見直しが必要。消費税頼みの不公平、不公正な財政運営を見直し、消費税率の引き下げが緊急の課題。本来、憲法25条に掲げられた社会保障の理念とは「疾病、負傷、分娩、廃疾、死亡、老齢、失業、多子その他困窮の原因」に対して国家が責任をもって政策を立てる(1950年、社会保障制度に関する勧告)ことであり、世代間の対立をあおりつつ、高齢者と子育て世代とを分断する安倍政権の政策の嘘と本質を見抜き、運動を強めることが求められている。来春は県知事選挙。情勢をしっかりとらえ、学習を深め、連帯を大切に、これまでの運動で築いてきた成果を確信に、共同の行動にさらなる一歩を踏み出すとき。
63	東京都	233	539	
64	神奈川県	622	14,194	
65	山梨県			
66	長野県	6	310	総会、代表者会議での学習が含まれます
67	新潟県			
68	富山県			
69	石川県	3	270	
70	福井県	1	64	・7月18日(土) 第19回福井県社保協総会時に記念講演を開催。演題:滞納は市民のSOS 暮らしささえあい条例と債権管理条例で支援 講師:滋賀県野洲市 山仲善彰市長
71	岐阜県	31	464	
72	静岡県	57	1,766	
73	愛知県	117	5,519	
74	三重県			
75	滋賀県	1	48	
76	京都府	17	442	・コロナの関係で、後半予定していた学習会がすべて中止 ・秋以降、全世代型社会保障改革学習会を予定中
77	大阪府			
78	奈良県			
79	和歌山県			
80	兵庫県	17	22	(注)参加者は記載されていた分のみ合計
81	岡山県	4	170	
82	広島県			
83	鳥取県			
84	島根県			
85	山口県			
86	徳島県			
87	香川県			
88	愛媛県			
89	高知県			
90	福岡県			
91	佐賀県			
92	長崎県			

	県名	回数	参加数	特徴・今後の予定など
93	大分県	8	290	<p>今年度の特徴としては、「地域社保協」の必要性について理解を深めるため、9月14日に中央社保協から是永事務局次長を講師に学習会を開催しました。可能な限り加盟団体の役員や構成員に参加を呼びかけ、30名の参加がありました。</p> <p>その後、学習会の成果から、各団体からの結成に対する積極的な意見もあり、10月からは、キャラバンの取り組みと並行して幹事会と加盟団体での議論を重ねた結果、自治体独自の課題と運動がある大分市での結成を目指し、介護保険をよくする大分の会、大分民商、県年金者組合、きょうされん大分支部、県生健会、医療生協が参加する「準備会」を1月に立ち上げました。現在4回の準備会を開催し、2020年度内での結成に向けた準備を進めています</p>
94	熊本県			
95	宮崎県			
96	鹿児島県			
97	沖縄県	10	450	<p>2020年8月15日に総会記念講演としてオンライン講演会を行った本田宏先生による「コロナ後の社会のあり方を問う～医療福祉優先社会への展望」に100名以上が視聴</p> <p>講師とテーマがよかったということもあるが、オンライン講演会で参加しにくい方も参加できるので一つの方法として活用していきたい</p>
合計	17	1,159	25,535	報告県数
累計	2017総会	4,378	138,537	報告県数40
	2018総会	3,374	101,008	報告県数32
	2019総会	7,752	239,545	
	小計	16,663	504,625	
中央団体	医福連	30	1,997	
	婦人民主	4	130	
総合計		16,697	506,752	